

## 自己評価報告書

平成 23 年 5 月 15 日現在

機関番号：82702  
研究種目：基盤研究（C）  
研究期間：平成20年度～平成23年度  
課題番号：20520606  
研究課題名（和文） 川島忠之助資料から見た明治期の横浜正金銀行  
研究課題名（英文） A Study of the *Kawashima Papers* and Yokohama Specie Bank in Meiji Era  
研究代表者  
寺崎 弘康（TERASAKI HIROYASU）  
神奈川県立歴史博物館・学芸部・専門学芸員  
研究者番号：80250231

研究分野：人文学  
科研費の分科・細目：史学・日本史  
キーワード：近現代史

## 1. 研究計画の概要

（1）本研究は、横浜正金銀行リヨン出張所初代主任川島忠之助が残した明治 20～30 年代の書簡類を基礎に、リヨン支店を中心としたヨーロッパ及びインドにおける外国為替、貿易金融に関する横浜正金銀行の役割を実証的に解明し、横浜正金銀行研究の進展に寄与することが目的である。

（2）川島忠之助資料は個人が所蔵していたため、これまで公開されたことがなく、本研究で整理、分析、デジタルデータ化することにより、研究終了後には一般に公開・活用することがもう一つの目的である。

## 2. 研究の進捗状況

（1）川島忠之助資料の整理作業としては、神奈川県立歴史博物館で保管する書簡、写真、書類すべてを終了し目録を作成した。原資料は中性紙の保存容器などに収納して整理番号を付して一定の温湿度管理された環境にて保管している。

（2）書簡帳の筆耕作業は、平成 20 年度から平成 22 年度までの 3 カ年で 3 冊全部を終了し、合計 619 通をデータ化した。その文字量は A4 判 1 枚（1,000 字換算）で 470 枚におよぶ。

書簡に記載されている事項や人物の情報を捕捉確認するため、東京大学経済学部図書館所蔵の横浜正金銀行資料（マイクロフィルム）や横浜市史資料室が収集したアメリカ国立公文書館所蔵横浜正金銀行ニューヨーク支店資料、正友会所蔵の正金銀行行員の記録類などにより調査した。とくに明治期に入行

した行員の一覧データを作成した。

（3）これらの作業の過程で、年間 4 回程度の割合で研究会を開催し、川島書簡から見た明治期の横浜正金銀行の姿について多方面から討議をかさねた。その成果の一部は論文として発表し、また博物館内の正金銀行コーナーにて展示という形で公表した。

（4）書簡の分析からは、横浜正金銀行の英国ロンドン支店を中心とした貿易金融の構造があきらかになり、また海外支店勤務の行員達の生活と交流の様子をみることができ、行員からみた新たな横浜正金銀行像を素描する可能性がでてきた。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している  
(理由)

研究当初に 4 カ年の研究計画をたてたが、ほぼその計画どおりに研究を実施してきており、平成 23 年度において研究計画の進行にはまったく問題はない。

## 4. 今後の研究の推進方策

研究計画最終年度である平成 23 年度は、これまでの研究作業の成果をとりまとめることであり、そのため研究会を定期的に開催することにより、着実に充実した研究成果の実現をめざす。

## 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

寺寄弘康「横浜正金銀行創立当初の職制と行員について」『神奈川県立博物館研究報告(人文科学)』第37号、2011年

〔学会発表〕(計 件)

〔図書〕(計 件)

〔産業財産権〕

○出願状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況(計 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

取得年月日:

国内外の別:

〔その他〕